心に残る文化財子ども塾　活動の概要と様子
～ 島根県立松江清心養護学校 ～

1. 活動の概要

7月1日（水）、島根県立松江清心養護学校で『心に残る文化財子ども塾』を行いました。はじめに、訪問時間に学校へ到着すると児童を代表して2名のお出迎えがありました。児童と一緒に教室へ移動し授業を開始です。まず、児童の皆さん、先生方、私たちの全員で自己紹介を行いました。その後、発掘調査で出土した縄文土器や弥生土器などの本物の遺物を触りながらじっくり観察しました。

その後も勾玉や古いお金など昔の道具に触れて、これらの道具が何につかうものかをクイズ形式で考えてもらいました。大きさや重さ、形の違いなどをしっかり感じ取って考えて、答えていたと思います。歴史好きな児童の回答が的確で驚きの連続でした。

次は古代食づくりに挑戦です。今回は赤米を土器で炊きますが、炊くための火起こし体験も合わせて行いました。前日からしっかり水につけた赤米を土器に入れ、いったんコンロで土器を加熱して赤米を炊き、炊き上がるまでに火起こし体験を行いました。火起こしは児童の皆さん全員が体験し、煙やニオイが出るところまですごく頑張ってくれた児童もいました。みなさんタイミングよく道具を動かしていたので、あと少し時間があれば火が点いたかもしれませんが、当日は湿度も高く難しい環境でした。カマドに火を起こさないと赤米が炊けないため、講師二人が代表してなんとか火をおこすことができ、カマドに火を移しました。ちょうどいい具合に炊けてきた赤米入りの土器を注意してカマドに移し、最後の過熱と蒸らしを行いました。

赤米の蒸らし時間も、昔の巻物を見てその長さに驚いたりしました。

しばらくすると赤米ごはんが完成し、土器から少しずつ皿に盛り付けます。特に味付けは何もしませんでしたが、おかわりをする児童もいるなど、おいしく炊き上げることができました。

本物の土器に触ったり、クイズを考えたり、火を起こしたり、赤米を食べたり、今回はいろいろな体験をすることができました。長時間にわたった授業ですが、児童の皆さんは大変興味を示し、集中力も素晴らしかったです。また、気持ちをしっかり表現してくれて大変うれしく思いました。

2. 活動の様子

1)縄文・弥生時代のくらしを知る



当時の生活を学びます



細かい文様まで観察しています

2）火起こし体験



一人ずつ頑張ります



けっこう難しいです

3）赤米を炊く



美味しくたけるように赤米を投入



美味しくたきあがりました

3. 子ども塾を終えて

1） 児童の皆さんから…

・赤米が一番心に残った。　　・お金に興味がわいた（文字や文様、質感など）。

・火が点いて良かった。　　・日本の文化や歴史をもっと知りたい。

2） 担任の先生から…

・事前に活動場所等の確認や学習内容の相談をさせていただき当日の活動をスムーズに行うことができた。

・貴重な品々を直接手で持ったり、感触を味わったりすることができてよかった。

・とても有意義な体験学習をすることができた。「心に残る体験」になったと思います。

・「なんだと思う？」クイズがあり、考えながら品々に触れる経験ができてよかった。実物の遺物に触れることができてよかった。

3） 埋文センターから

関連する学習を何度か行ったうえでの子ども塾、みなさん昔のことについてすごく興味をもって授業に参加されました。縄文土器や古いお金に触れる際も興味津々で細かく観察をしている姿が印象的でした。

火起こし体験はどうしても時間と体力が必要となります。今回は煙やニオイが出るところまでしかできませんでしたが、将来このような体験をすることがあれば火をつけるところまで頑張ってください。

5年生以下の児童さんも自分なりの視点で興味を持って授業を受けている様子が印象的でした。こちらの話をしっかり聞いてもらっているのがすごくよくわかり、話しやすかったです。

古代食体験は赤米をたきました。おいしいと何度もおかわりをしてもらいました。

アンケートでは皆さん印象に残った子ども塾となったようです。これからも地域の歴史に興味関心を持っていただけると嬉しいです。